



QRコードを読み取り、ホームページ
を見ることができます。スマイル附属情
報を様々な発信中です！

令和3年度 附属小学校だより

スマイルふぞく



第13号 令和4年3月15日（火） 校長 古野 祐一

明日は卒業式！

明日は6年生が巣立つ卒業式です。89名一人一人が、6年間の歴史を振り返る節目の日を、空も晴天で祝ってくれそうです。

私は、この6年生に不思議な縁を感じています。4月に赴任し「スマイル附属」を皆で創りたいと取り組んで参りました。ここまで子どもたちの先頭に立って学校創りに邁進してくれたのが6年生です。その6年生が1年生の頃、学年目標は「スマイル1年生」。お互いのよさを認め、賞賛し、高め合う子どもになるようにという願いの下、スクスクと育ってきました。

スマイルで始まりスマイルで終わるこの学年の子どもたちが、欠かすことの出来ない三つの願いである「内なる思いが湧き出る笑顔の学校」「お互い様の心溢れる学校」「一生の友と出会い語り合う学校」であるために何をすべきかと、姿で示してくれたことに感謝しています。

明日は、スマイル附属1期生の旅立ちを皆で祝福しましょう。

1年間ありがとうございました！

修了式まで残すところ5日間となりました。いよいよ今年度最後の学校だよりです。先週、楽しみに待っていた今年度最後の「北斗星223号」が届きました。この一冊の隅々に、子供たちを慈しむ広報委員会の皆様の温かい眼差しを感じます。附属の歴史がまた一つ積みあがったことを嬉しく思いました。子供たちの日常に潤いと十分な安心安全をもたらしてくださった育友会の皆様と一緒に創ってきたこの1年に改めて感謝申し上げます。

6年生を見送った後は、在校生の締めくくりとともに新しい始まりでもあります。4月から新たな目標を決め動き出すための指針となるように、通知表を担当が準備しています。担任の所見には、子供一人一人の頑張りや良さ、諦めずに続ければもっと成長できるといったことを伝えています。御家庭での励ましに活用いただきたいと思います。

コロナウイルス感染症も油断できない状況が続いていますので、ゴールに向かって感染防止策を続けていきます。令和4年度も、とびきりの笑顔が溢れるスマイル附属を創るために、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



卒業式の練習をする6年生。



最後の朝掃除をする6年生。



6年から5年へ、朝掃除の引き継ぎ。



6年から5年へ、校旗の引き継ぎ。

※裏面に続きます！

「竹」のように

「竹」の種は、まいてから4年間小さな芽が出るだけです。地上では何一つ生長が見られないのです。4年間の生長はすべて地下だけで、土の中に深く根を張っているのです。そして、5年目、その竹は一気に30mも伸びるそうです。

附属小では、北斗の子が一生懸命になって頑張っている場面をたくさん見ることができます。しかし、思ったような結果につながらない場面を見掛けることもあります。もしかすると、頑張っても思うような結果にならないことの方が多いのかもしれませんが、しかし、この頑張りは無駄なのでしょうか。

私は、無駄とは考えません。一つ一つの頑張りが、北斗の子の心の中に少しずつ根を張っているように思うのです。すぐには大きな成果は見られないかもしれませんが、しかし、頑張りを続けることで、まさに「竹」のように目に見える成果が現れる日が来ると、私は信じています。頑張っても伸びないときは、伸びる準備をしている大切な時間なのです。

これからも、北斗の子の頑張りを楽しみに学校生活を送りたいです。そして、北斗の子の頑張りに気付くことができるよう、最後まで関わりを深めていきます。

今年度もありがとうございました。

教頭 松永 知大

その先に

先日の名古屋ウィメンズマラソンの中で太田琴菜選手が8位に入り、MGC（オリンピック予選）の出場権を得ました。実はこの選手、立命館大学時代に活躍し、私が注目していた選手です。しかし、その後は、怪我の影響もあり、あまり活躍ができない日々が続きます。そして不安の中で迎えた今回、ゴール直後に涙して喜んでいる姿がありました。記録が伸びない時もひたむきに努力をし続けてきたからでしょう。私はその姿を見ながら本当の笑顔は、どんな時もひたむきに頑張った先にあると改めて感じたのです。

今年度も終わりを迎えます。附属小は、何事にもひたむきに取り組み、一歩前進する子どもの育成を目標にしてきました。頑張りの先にある子どもの笑顔はいつ見ても輝いていました。

今年度の御協力ありがとうございました。

主幹教諭 池田 一幸

別れの教育

3年ぶりに行われたオンラインでの送別集会。卒業生も在校生もいい顔をしていました。本校の送別集会で最も感動的な1年生からパートナーの6年生へ「ありがとう」の言葉を添えてプレゼントを渡すシーン。6年生にとっては、1年生の成長を実感することで、これまでの関わりが報われます。1年生にとっては、6年生との別れを実感することで、これまで大切にされてきたことに気付き感謝の気持ちを抱きます。

このように、学校における「別れ」は、お世話になった人に想いを馳せ、自分の成長に気付かされる大切な機会です。

人は 出会いによって 育まれ

人生は 別れによって 深められる

卒業式、離任式と北斗の別れが続きます。この教育の場で、人との出会いを大切にする北斗の子を育てていきます。

今年度もありがとうございました。

教務主任 橋田 晶拓